

常任委員会 管外視察

三鷹市議会では、全国の自治体で実施されている特色ある施策や先進事例を視察し、今後のまちづくり等の参考とするため、各常任委員会で管外視察を行っています。視察の成果は、今後の委員会活動はもとより、市行政に反映させていきます。なお、管外視察結果報告書の詳細な内容については、市議会ホームページ「委員会の結果」ページ下部の「常任委員会管外視察結果」からご覧になれます。

《常任委員会管外視察》

Table with 4 columns: 委員会, 日程, 視察先, 視察事項. Rows include 総務委員会 (富山市, 金沢市), 文教委員会 (箕面市, 和気町), 厚生委員会 (春日井市, 寝屋川市), まちづくり環境委員会 (豊田市, 湖南省).

総務委員会



SDGs未来都市とやまの視察(富山市)

富山市(富山県)
SDGs未来都市とやま
本市では、持続可能な開発目標(SDGs)を踏まえた取り組みの一環として、地域特性を生かしたモデル事業を実施しています。そこで、その取り組み

の参考とするため、先進事例である富山市を視察しました。富山市では人口維持と地域活性化のために求められる様々な社会的課題に即応し、産学民を初めとする多様なステークホルダーとの連携を図り、持続可能な付加価値創造都市の実現を目指しています。

成20年7月豪雨被害に関連する金沢市の独自支援策として、転宅資金補給金等の支給や災害の被害に応じて貸し付けを受けることが可能な災害支援資金の融資等を行っています。
◇観光客等の帰宅困難者対策
本市では、災害発生時の情報連絡体制の確認や連携活動の強化を図るため、防災関係機関連携訓練を実施しています。そこで、観光客等の帰宅困難者対策の参考とするため、先進事例である金沢市を視察しました。金沢市では金沢駅周辺避難所に対する人的、物的支援の拡充、事業所における帰宅困難者対策の充実(登録事業所制度)等の取り組みを実施しています。

文教委員会

箕面市(大阪府)
小・中学校の体育館のエアコン設置
本市では、学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす場であり、災害発生時には地域の防災拠点としての役割を担うことから、安全で快適な学校施設づくりの推進に取り組んでいます。そこで、その取り組みの参考とするため、先進事例である箕面市を視察しました。箕面市では、平成30年3月に市内全ての小・中学校の体育館へエアコン設置が完了し、夏季の熱中症対策及び避難所としての機能向上を図っています。
◇タブレット端末を活用し

たICT教育
本市では、タブレット端末等の利用促進を図るとともに、ICTの効果的な活用に向けた教員研修等を推進し、教育内容の充実に努めています。そこで、その取り組みの参考とするため、先進事例である箕面市を視察しました。箕面市では、平成30年度の2学期から全市立小学校4・6年生と市立中学校1校で、タブレット端末を1人1台利用できる体制を整え、ICTを活用した教育を推進しています。

和気町(岡山県)
英語教育
本市では、小・中一貫カリキュラムに基づき、異文化・自国文化への理解を深め、国際的な感覚、グローバルな視点をもつ児童・生徒の育成等を図っています。そこで、その取り組みの参考とするため、先進事例である和気町を視察しました。和気町では、幼稚園から中学校まで切れ目なく英語が学べる教育環境をつくり、「英語特区」と「英語公営塾」を柱とした取り組みを進めています。

厚生委員会

春日井市(愛知県)
ママ自身の活動やリフレッシュを応援する体制づくり
本市では、妊娠から出産後までの子どもの育ちを支援する「ウェルカムベビープロジェクト」の一環として、産後安心子育てができる支援体制を確保し、母子等の心身の健康の保持増進を図ることを目的に、デイサービス型の産後ケア事業「ゆりかごプラス」等を実施しています。そこで、今後の子育て支援の参考とするため、先進事例である春日井市を視察しました。春日井市では、若い子育て世代が

ら選ばれたため、移動型地域子育て支援事業、妊産婦ケア事業、子育て女性就労支援事業、ママハッピー度調査を行うなど、子どもや子育てに関する施策を積極的に推進しています。
◇寝屋川市(大阪府)
市立子育てリフレッシュ館RELATTO(リラッ
本市では、「ウェルカムベビープロジェクト」の一環として、子どもと家庭に関する総合相談事業、緊急一時保育事業、トワイライトステイ事業、子どもショートステイ事業、育児支援ヘルパー事業等を実施しています。そこで、今後の子育て支援の参考とするため、先進事例である寝屋川市を視察しました。



市立子育てリフレッシュ館の視察(寝屋川市)

まちづくり環境委員会

豊田市(愛知県)
デマンドバスの運行
本市では、誰もが安全で安心して快適に移動できる交通体系の実現を目指しており、デマンドバスなど、社会環境の変化に合わせた、全ての人々にとって安全で

利用しやすいバスサービスの研究を行っています。そこで、その取り組みの参考とするため、先進事例である豊田市を視察しました。豊田市では、交通利便性の向上を目的として、事前予約することで必要な時に乗り降りしたいバス停間を効率的に移動できるデマンドバス「おばら桜バス」を平成21年度から導入しており、多くの市民が利用しています。また、スマートフォンで予約の手続きができる新システムの検証実験を行うなど、更なる利便性の向上に向けた取り組みを行っています。
◇湖南省(滋賀県)
自然エネルギーを活用した取り組み
本市では、地球温暖化対

策に向けて、温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでおり、太陽光発電設備等の設置費用の一部支援等を行っています。そこで、その取り組みの参考とするため、先進事例である湖南省を視察しました。湖南省では、湖南省地域自然エネルギー基本条例を策定し、湖南省内の自然エネルギーを地域経済の循環や地域の発展に役立てる取り組みを行っています。市民からの出資をもとに設置した「コナン市民共同発電所」の売電収入を地域商品券で配当する仕組みを導入しており、太陽光発電の普及や地域自然エネルギーを核とした地域経済の活性化を行うなど、様々な取り組みを進めています。



タブレット端末を活用したICT教育の視察(箕面市)



デマンドバスの運行の視察(豊田市)